

サマーフェス in KOMAKI AIR BASE

小牧基地は、令和8年7月31日（金）及び8月1日（土）の2日間、将来の職業の一つとして自衛隊に興味を持つ若者及びそのご家族を対象として、航空自衛隊の仕事内容や魅力を紹介するイベント「サマーフェス in KOMAKI AIR BASE」を開催しました。

本イベントは、隊員が日々任務を遂行する職場を可能な限り開放し、来場者に実際に「見て、触れて、体験」していただくことをコンセプトとして実施したものです。各コンテンツにおいて隊員たちは、入念な準備と暑さ対策にも万全を期して来場者を迎えました。開催期間中は連日35℃を超える猛暑となりましたが、11府県から約700名が来場しました。会場では、各種職種紹介、職場見学、隊員との座談会、航空機及び装備品の展示、シミュレーターを使用した管制官体験など、計25のコンテンツを実施し、航空自衛隊の魅力や任務の重要性について理解を深めていただく貴重な機会となりました。

来場者からは、「実際の職場を見学できて理解が深まった。」「隊員の方々と直接話すことができ、進路選択の参考になった。」などの声が寄せられ、大変好評をいただきました。なかでも最も人気を集めたのは、C-130H輸送機の体験TAXI（地上滑走）です。参加者は、エンジンから発せられる迫力あるブラスト（プロペラから発生する強風）を間近で体感しながら航空機に搭乗するなど、普段味わうことのできない輸送機の力強さと臨場感を存分に体験しました。



また、案内役を務めた若年隊員は、「入隊後は一般の方々と接する機会が少なく、当初は緊張していましたが、自分と同じ出身県の方を担当したことで親しみを感じながら案内することができました。このイベントをきっかけに、一人でも多くの方が航空自衛官を志してくれればうれしいです。」と語り、参加者との交流を通じて大きなやりがいを感じた様子でした。

小牧基地は今後も、このような体験型イベントを通じて航空自衛隊の活動や魅力を広く発信するとともに、自衛隊への理解促進と地域とのさらなる交流の深化に努めてまいります。



